

令和3年度 あったかい言葉・標語 50撰

揖斐川町青少年育成町民会議の取り組みで、小・中学生、高校生、住民の方にあったかい言葉と標語作品の募集をしました。応募総数1,833作品の中から50作品を選出しましたので、複数回に分けて紹介していきます。今回は、小学1～3年生が作成した作品を紹介します。

谷汲小学校 1年 ないとう ここあ さん	「やればできる」 じてんしゃのれんしゅうのとき、なんかいもころんだときここあちゃんなら「やればできる」っていつてくれたから、じてんしゃにのれるようになったよ。
北方小学校 1年 たかはし ほのか さん	「てつだってくれてありがとう」 からあげのかたくりこをつけてあげたときにいわれて、うれしかったよ。またてつだってあげるよ。
大和小学校 1年 いちかわ けいと さん	「できる！」 ぼくがべんきょうがわからないとき、ぜったいだいじょうぶ、できるといつてくれるからぼくはがんばれるよ。
清水小学校 1年 あんどう りょうた さん	「いつてらっしゃい。おかえり。」 「いつてらっしゃい。おかえり。」といつもいつてもらえてうれしいよ。ぼくもげんきがでてがんばれるよ。
小島小学校 1年 たけむら せな さん	「あいしているよ」 おこられるといやなきもちになるけど、ときどきあいしているよといわれるところがぼかぼかになるよ。
揖斐小学校 2年 やわた げんま さん	「ありがとう」 げんかんのくつをキレイにそろえてはきやすくしたら「ありがとう」とかぞくが言って、うれしかったよ。
春日小学校 2年 お ぐら ふう か さん	「がんばったね。」 おかあさんに「がんばったね。」とえがおで言われ、うれしくなつてつぎもがんばろうとやる気がいっぱい出たよ。
養基小学校 2年 くつな さくた さん	「さくにあうと元気がでるよ」 じいちゃんにあうと、いつもそういつてくれるのでうれしいです。もっと元気になるようにまた行くね。
小島小学校 3年 ほそ の そう しん さん	学きゅう遊びでドッチボールが終わってぼくがボールをかたづけしていたら、友だちがありがとうといつてくれました。ありがとうといわれてうれしかったのでぼくもみんながいいことをしてくれたらありがとうといいたいです。



▲啓発用品を配布する揖斐高等学校の生徒の皆さん

11月の「子ども・若者育成支援強調月間」(内閣府主催)に合わせ、11月17日に、養老鉄道揖斐駅前において、街頭啓発を実施しました。

当日は、揖斐県事務所、揖斐警察署、保護司会、更生保護女性会、揖斐高等学校MSリーグズの皆さんが啓発用品を配布し、運動を呼びかけました。

今後も揖斐川町青少年育成町民会議では「未来を語ろう育てよう見守ろう」をテーマに、家庭・学校・地域社会が深く関わり合いながら、青少年が参画できる地域ぐるみの取組みを続けていきます。

揖斐川町青少年育成町民 会議街頭啓発を実施



◇第54回全国高等専門学校サッカー選手権大会
出場
伊藤 だいき 大起さん(岐阜工業高等専門学校5年)



◇2021年度JFA第27回全日本U-15 フットサル選手権
東海地域大会 出場
翼SCレインボー垂井 所属
わかその りく 大陸さん(中学3年生)

◇2021年度フジパンカップユースU-12 サッカー大会
少年の部 東海大会 出場

◇JFA第45回全日本U-12サッカー選手権大会 出場
FC Re:Star所属
わかその たいが 大煌さん(小学5年生)



◇第61回大阪国際招待卓球選手権大会 出場
O.T.T.C(温知卓球クラブ)所属
わかほら そうま 蒼真さん(大和小5年)

大会に出場される方の激励会が開催されました。

スポーツ優秀者激励会

※新型コロナウイルス感染予防・拡大防止の為、講演会を変更する場合があります。

■お申込み・お問い合わせ
揖斐川歴史民俗資料館

TEL 2215373

■申し込み方法
1月12日(水)午前9時から電話にて受付します。

■定員 先着200名

■参加費 300円(資料代)

■会場 地域交流センターはなもも大ホール

■日時 1月16日(日) 14時

■講師 田中豊氏(当館古文書講師)

★講演会のお知らせ
揖斐川町ゆかりの春日局と父である白樫城主齋藤利三について広く知っていただきたく講演を行います。お誘い合わせの上、お申込みください。

■期間 1月4日(火)～2月6日(日)

■会場 第一展示室

★「寿ぎ展」のご案内
揖斐川歴史民俗資料館では、新年にちなむ資料を展示した企画展を開催します。お誘い合わせの上、ぜひご来館ください。



揖斐川歴史民俗資料館

友好都市

芽室町 だより

嬉しい交流の広がり

11月3日(水)に藤橋の道の駅で開催された「ほしふるフェス」で芽室町自慢の野菜を中心とした特産品を販売しました。これに合わせて芽室町職員3名がチャレンジ企画・提案研修を活用し、同イベントで特設芽室ブースの販売スタッフとして活躍してくれました。また、今回出店された揖斐川町内の販売業者の方々が、芽室町のお菓子や同町産の食材を使ったメニューを販売してくださるといふ1日限りの特別コラボも実現しました。

さらに11月20日(土)には芽室町内にあるyou tell(トウテル)というオーガニックストアで、ぎふコーラ・薬草茶・三年番茶を販売するドリンクスタンドが実現し、揖斐川町よりぎふコーラとキッチンマルコのメンバーも駆けつけ、直接芽室町民に商品や活動についてアピールできる場となりました。

両町の友好都市間の交流が民間、そして町民の方へ広がりがつとあり、嬉しく思います。



(芽室町魅力創造課 高田)